

(中小企業ビジネス支援サイト)



J-Net21 を利用されては?

経営支援に関する情報が満載

**企業、製品情報の全国 PR ができる場も
中小機構が運営**

「J-Net21」というインターネット上のサイトがあります。中小機構（独立行政法人 中小企業基盤整備機構）が運営する中小企業支援のためのサイトです。公的機関の広範囲の支援情報のほか、経営に関する Q&A や多くの企業の成功・失敗事例などを紹介しており、毎日のように新しい情報を配信しています。起業から事業拡大、経営改善、支援機関情報、資金調達、製品・技術、ニュースまで範囲が広く、そこから関連する情報へリンクして他の各種機関のサイトにつなげることもできます。また、中小企業が、このサイトを利用して自社と自社の製品 PR が自由にできます。中小企業経営者に参考になるとおもわれますので

まだ、ご存知でない方は「お気に入り」に入れて、随時、のぞかれてはいかがでしょうか。



Internet Explorer から J-Net21 あるいは中小企業ビジネス支援サイトと打ち込むと、最初の画面（ポータルサイト）が出てきます=写真。たくさんアイテムが出ていますが、上

部のバーを見ると、

起業する **事業を広げる** **経営をよくする** **支援情報・機関を知る** **資金を調達する**
製品・技術を開発する **ニュースを見る**の7つの項目があります。

これらの項目を大きな「引き出し」とすると、それぞれの引き出しの中にまた、多数の引き出しがあり、その引き出しの中にまた、引き出しが…といった具合に奥へ奥へと広がります。また、「リンク」によって関連する外部の引き出しにも飛んでいけます。

経営をよくする

7つの項目の一つ、**経営をよくする**を開くと、15の見出しが出てきます（6月13日現在）。

「ビジネス Q&A」「元気印中小企業」「ここが知りたい RoHS 指令」「法律コラム」「にぎわい商店街」「事業承継ポータル」「取引振興情報サイト」「中小企業ビジネスのための SaaS&ASP 活用術」など。

最初の“引き出し”、「ビジネス Q&A」をクリックすると、中小企業やベンチャー企業の経営者らから寄せられた経営に関する質問と、それに対し専門家が回答した内容が多数、掲載されています。

質問のひとつを読むと、「工場改善・効率化のための 5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）の取り組み方法を教えてください」とあり、中小企業診断士による 3 ページにわたる回答が掲載されています。

各種の質問と回答に加えて、関連情報として、5S 活動により生産性を 2 倍に上げた中小企業の成功事例もあります。

また、製造現場からの質問として「わが社の技術的課題を解決したいのですが、何か良い支援制度があれば教えてください」「古い工場なので地震が心配です。どのような対策をとればよいのですか？」など多くの Q（質問）が並び、それらに対する専門家や研究機関による、かなり長めの A（回答）が掲載されています。

「法律コラム」では、弁護士や税理士がビジネスを取り巻く法律問題をわかりやすく解説。「にぎわい商店街」では、地元マッチしたイベント展開など様々なアイデアを出して発展する全国の商店街を紹介しています。共通する点があれば、各地の地域おこし、商店街活性化の参考になりそうです。

製品・技術を開発する

製品・技術を開発するには 5 つの項目があります。

そのひとつ、「産学官連携・技術新開発」では、「産学官連携のすべてがわかるサイト」、技術移転のための「未公開、公開特許・技術シーズ等のデータベース」、「技術者向けeラーニングサービス」（技術者の自主学習・能力開発を支援するサービス）、「過去の失敗事例に学ぶデータベース」（事故や失敗事例を分析し、教訓をデータベース化したもの）などがあります。

「ものづくりの原点」では、優れた技術開発企業の紹介欄の右側に、ナノテク、自動車部品、金型、加工、医療・バイオ、半導体などの文字があり、これらをクリックすると、こうした言葉が登場する多数の記事が現れます。

起業する

起業するをのぞくと、「闘いつづける創業者たち」「起業 ABC」「業種別スタートアップガイド」「中小機構のインキュベーション施設」「ベンチャー企業投資促進税制（エンジェル税制）のご案内」などの項目が並びます。

「闘いつづける創業者たち」では、今も第一線で活躍する創業者に、創業までの軌跡、苦勞、挫折から学んだ教訓などをインタビューして紹介しています。

200以上の業種について、会社立ち上げの際の留意点や業界の動向などを紹介しているのが「業種別スタートアップガイド」。

なお、エンジェル税制とは、ベンチャー企業に投資する個人投資家に対する所得税の優遇措置。インキュベーションはもともと、孵化器の意味で、創業者のための支援施設のこと。安い料金で建物を借りられるなどのメリットがあります。創業・起業する人たちに、参考になる各種の情報が納められています。

資金を調達する

資金を調達する

ここでは中小企業が使える公的機関の資金、助成金の情報がすばやく捕えられます。資金制度についてや募集中の資金情報を、調達の目的、方法、都道府県別に検索できます。

【関連サイト】として、「金融支援策のご案内」（中小企業庁）や「中小企業の資金調達に役立つ金融検査の知識」（金融庁）も紹介されています。

ニュースを見る

このほか、**ニュースを見る**では、経営、技術、支援に役立つ最新情報が配信されており、「中小企業ニュース」や「2008 主要展示会カレンダー」などがあります。

自社の紹介や製品 PR ができるサイトも

企業や製品情報の PR ができる場合は、**事業を広げる**の項目の「バーチャル展示会」と「にぎわい広場」です。

「バーチャル展示会」は、インターネット上で企業が商品や技術を紹介できるページで、全国の中小企業が参加できます。取引したい会社や製品を見つけたら中小企業庁を通して資料請求もできます。



バーチャル展示会に“出展”したい場合は、画面右側の「インフォメーション」の下にある「新規登録」「参加方法」「ログイン」などをクリックして、必要事項を打ち込んでください。

「にぎわい広場」では企業や技術など欲しい情報が見つかります。自社の情報の登録も簡単です。利用は無料。登録は「にぎわい広場」の下にある**情報登録**をクリックするとログイン画面が出てきます。ユーザー登録をしていない人は「新規登録」から入り、ユーザーID、パスワードを決めて入力していきます。

中小企業庁によると、先月5月のバーチャル展示会へのアクセス数は4万5千ページ。「にぎわい広場」のほうは13万9千ページ（見られたページ数の合計）。閲覧数が多いから、ビジネスチャンスを広げる可能性があります。

但し、同機構では「機構としては、掲載されている企業の信用度、技術情報の調査はできていません。ネットを通した橋渡し役だけで、取引は企業同士の責任で行っていただいています」と話しています。バーチャル展示会、にぎわい広場とも、利用に当たっては注意事項等をしっかり読んでから行う必要があります。

文 株式会社 大阪彩都総合研究所
橋本 剛